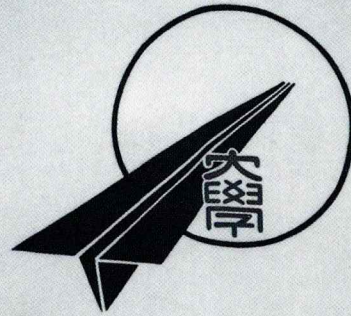


會 報

第 19 号

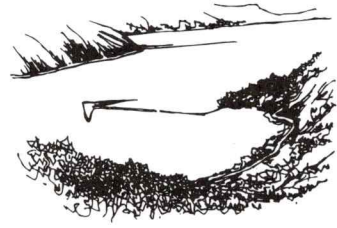


滋賀県レイカディア大学同窓会

滋賀県レイカディア大学同窓会

レイカディア大学校歌
レイカディア讃歌

一、近江の最中 青き湖
ささなみ寄せる軽き音
いつまでも尽きることなき
その思い ともに学ばん
さわやかに レイカディア
レイカディア
わがレイカディア



二、青垣つらね 鈴鹿比良
峰にたわむる白鳥の

いつまでも果つることなき
遊びを ともに遊ばん
うるわしく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

三、淡海映す 蒼き空
宇宙が見せる深き貌
いつまでも消ゆることなき
その真実 ともに生きなん
かぎりなく レイカディア
レイカディア
わがレイカディア

目次

“明るく・楽しく・元気良く”

滋賀県レイカディア大学同窓会会長 門馬 三郎…………… 1

地域社会づくりは高齢者の力で!!

滋賀県レイカディア大学学長 稲葉 稔…………… 2

平成十四年度の本部の歩み

滋賀県レイカディア大学同窓会事務局長 奥村常治郎…………… 3

支部活動……………

大津支部…………… 5

湖南支部……………

守山・野洲支部……………

甲賀支部……………

近江八幡支部……………

中部支部……………

湖東支部……………

湖北支部……………

高島支部……………

話題の人……………

新入会員の紹介……………

平成十四年度本部役員名簿……………

物故者を悼む……………

滋賀県レイカディア大学同窓会会則……………

滋賀県レイカディア大学同窓会表彰規定……………

編集後記……………

“明るく・楽しく・元氣良く”



滋賀県レイカディア大学同窓会

会長 門馬 三郎

今期会長のご指名を受けまして大変光榮に存じております。

その責任の重大さに大変緊張しておりますが、誠心誠意、全身全霊を挙げて職責を全うする決意です。皆様方のご協力・ご支援をお願い致します。

同窓会の存在意義は「集まって楽しかった嬉しかった」との和らぎを望むことに有ると思います。

それ故に「明るく・楽しく・元氣良く」をモットーに会の発展を共に図りたく存じます。

大学で二年間共に学びました。知識の習得とともに同級生相互の人間理解と友情を得ることが出来たことでしょうか。クラスメート間の良い信頼は卒業後も続けられます。この関係を横軸にし、各年代を縦軸に連ねたのが同窓会の組織でしょう。県下全域を網羅しかつ幅広い年齢構成でこんな組織は他に類を見ません。

大学で習得した知識・技量で世のため・人のため社会的

ボランティアを行っている同窓生もおられます。その活動も会の組織を跳躍台とすることで発展させることもできます。高齢期を平和に充実し有意義に過ごしたいと私達は願います。しかし高齢者に対する施策が試行途中のこの国では第一線を退いた後に目的を持って生きることがはむつかしい事です。

老人の核家族化がすすみ、社会より孤立し、家内に引きこもりになる傾向が有りますが、私達は滋賀県レイカディア大学同窓会の組織を通じて社会と関わればこれは解消されます。

卒業後の高齢期を有意義に過ごす為の一つの手段として、また新しい目的創成として会の活動に積極的にご参加下さい。会が何をしてくれるのかでは無く、我々が会に何が出来るかです。

在学して学べたのは喜ばしかったし、卒業後に同窓会員として結集出来るのが会の存在理由であり会員の大きなメリットでしょう。会に居て良かった、何時までも続けたいと感じるし、自らこんな偉大な組織を止めることは無いと思います。高齢者が社会参加することは地域社会にとり重要な要素です。先輩が築いた永い歴史を後継者に継承する責務もあります。

平成一四年度の我が同窓会総会は五月二一日に米原中央

公民館で二六二名の会員が参加して盛大に開催されました。議事は議案どおり賛成され盛会裡に進んだことはご同慶でした。その後「富田人形浄瑠璃」(滋賀県無形民族資料)が演ぜられ一同興味深く鑑賞し楽しい一時でした。

支部交流・親善の「支部対抗グラウンドゴルフ」は一月一日に野洲川立入公園にて行われました。会を重ねる度に運営役員・参加選手ともにスムーズに競技が行われるようになりました。支部間の親善の時間もありません。各支部でこの会に備え予選・練習を行う等、参加の裾野が広がっています。

同窓会全員参加のメインイベントとして定着したのは嬉しいことです。選手で九〇才の女性が好成績でラウンドされたのは驚きであり憧れでした。

九月一二日には第二三期生の卒業式が行われ一五八名が同窓会に新規加入で現会員は一八二二名となりました。

「後にも続くものを信ず」と頼もしい限りです。

一〇月一日には第二五期生一九二名の入学式が執り行われました。年々多くの入学希望者が続いているようです。同窓会の運営の抱負と会務をご報告してご挨拶といたします。

地域社会づくりは高齢者の力で!!



滋賀県レイカディア大学

学長 稲葉 稔

滋賀県レイカディア大学同窓会会報第一九号の発刊にあたりまして、一言ご挨拶を申し上げます。

レイカディア大学は、昭和五三年に設置された「滋賀県老人大学校」が前身ですが、その発足以来早や四半世紀を迎えました。その間に三、一〇〇名を超える多くの方が卒業され、県下各地において地域活動やボランティア活動に活躍されていることに、大学を預かる者として大変心強く思っております。レイカディア大学は、高齢者の方がいつでも元気で生きがいを持つて暮らす、言葉を変えれば、第二の現役世代として社会と関わりを持った、積極的な生き方を創り出すとともに、地域においてその輪を広げていただくために、県下各地から意欲あふれる人材を募り育成しております。「平成一四年版高齢社会白書」によりますます、高齢者の四分の三の方が近隣との交流や老人クラブ等のグループ活動に参加しておられます。また、地域のまちづくりやボランティア活動等の社会貢献について見ると、

一〇分の三の方が積極的に参加し、四分の一の方が今後機会があれば参加したいとの意欲を持っておられますし、半数以上の方が地域で何らかの社会活動に貢献したいとの意欲を持っておられます。今や、六人に一人が六五歳以上という高齢社会となり、将来的には五人に一人、四人に一人となるものと予測されています。地域的にはもつと高い割合にもなります。この様な社会では、貴重な知識、経験を持つ高齢者は重要な構成員です。住みよい地域社会、暮らしやすい世の中を築いていくために、高齢者が積極的に活動することはますます大事なこととなってきております。

同窓会の皆様方には、今日まで培ってこられました豊富な知識や経験とともに、レイカディア大学での学びを生かし、高齢者の方々の先頭に立ってご活躍いただくことをご期待申し上げます。大学を運営していただきます滋賀県レイカディア振興財団も、皆様方と共に明るい長寿社会「レイカディア」実現のため役職員あげて努力してまいりますので、今後とも、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、同窓会の運営にご尽力いただいております関係者の皆様に敬意を表しますとともに、同窓会の今後ますますのご発展と、会員の皆様方がさらにお元気にご活躍されますことを祈念いたしまして、発刊に寄せてのご挨拶いたします。

平成一四年度の本部の歩み



滋賀県レイカディア大学同窓会

事務局長 奥村 常治郎

定期総会

五月二一日、米原中央公民館でレイカディア大学副学長をはじめ米原町長など多数の来賓と二六二名の会員の出席を得て開催しました。

議事に先駆け、功労者表彰が、個人九名と今年初めての団体賞が「ガーデナーズ」に、また二一名に米寿の慶祝が各々授与されました。なお、団体賞を受賞した「ガーデナーズ」は、第二〇期の園芸学科生



新任挨拶をする門馬新会長

が卒業以来、毎月二回「県立近江富士花緑公園」の花や樹木の手入れなど地道な緑化活動を評価されての表彰でした。

役員改選では、長年本会の発展にご尽力いただいた佐々木尚一氏に代わり、新会長に門馬三郎氏を選出し、提案議題は全て可決され無事閉会しました。

総会後のアトラクションは、滋賀県無形民俗資料の北富田（東浅井郡びわ町）の人達による「人形浄瑠璃劇」が上演され、最初は浄瑠璃と聞き、ちよつと馴染み難い気がしたが、お遍路姿の少女が、親を探すお馴染みの『傾城阿波の鳴門』の物語で、進行とともに魅せられていきました。

我が子と知りつつ親子の名乗りが出来ないまま、愛しい我が子との悲しい別離の様子をきめ細かな感情表現で人形を操る三人の黒子の技。更に、浄瑠璃の「語り」と哀愁漂う太く低い「三味」の音に魅せられた感動の古典演劇でした。

支部対抗グラウンドゴルフ大会

一〇月一日、野洲川立入河川運動公園で開催しました。当日は、県下九支部の代表が集う、年一回の大会にふさわしく川原のススキがのどかな秋風になびく絶好のスポーツ日和でした。

大会の前日には、守山・野洲支部の委員さんがコースの草刈りなど気配りいただいたお陰で気持ちよくプレーがで

きました。

成績の方は、地の利を活かした守山・野洲支部が、栄えある優勝の栄を獲得しましたが、それにも増してすばらしいことは、甲賀支部の赤瀬川イチエさん（六期・陶芸学科）です。

なんと、九〇歳で選手として出場され、年齢を感じさせないプレーで二四ホールを難なくホールアウトされたのは驚嘆でした。まさに、高齢社会のすばらしいお手本を見させていただきました。

「年を取ってもこうでありたい」と思うとともに「老いは年ではない。何かに挑戦する『張り』を失った時こそ、自ら『老を引き寄せる』もの」だと悟ったひと時でした。



ナイスパットの赤瀬川さん

同窓会の活動指針として「小さな本部」「大きな支部」を合言葉に、各支部とも活潑な事業活動を展開しています。つまり、支部の活動を通じて培われる会員相互の親睦と同窓の絆の深まりこそが、本会の原点であると言えます。そこで、現状の「支部の動き」を紹介し、支部活動の更なる充実発展に供すればとの願いを込めて企画しました。

守山・野洲支部	甲 賀 支 部	近江八幡支部
6月3日	4月16日	4月23日
40名	46名	56～70名
3,500円	1,000円	4,000円
ホテル琵琶湖プラザ	水口スポーツの森ロッジ	坪清
ホテル専用バス	無し	送迎用マイクロバス
当日	当日	当日配布
1. 宴会 2. 佐川急便美術館観賞	昼食	カラオケ、舞踊
年8回	年6回	毎月1回程度（各地区の役員）
各理事が案内配布	案内書の手渡又は郵送	
公民館 (1回当り500円 冷暖房300円)	季節により冷暖房費有り (スポーツの森のロッジ)	無料（ひまわり館、市福祉センター）
湯わかし、茶菓子持ち寄り	茶葉、菓子持ち寄り	ジュース1本
年2回（6月・10月）	年1回	年1回
“ミニ情報”（来年から“守山・野洲支部情報”に名称変更）	“甲賀支部だより”	会報（各地区役員配布）
本部総会、支部総会、事業計画、グループ活動、その他	組織、各部の事業方針、米寿者挨拶、情報、会員投稿	市長など行政の幹部の挨拶、レイカディア関係の挨拶、長老の回顧録、新入会員の提言、一般会員の所感、その他支部会則、名簿等
年1回	2年に1回	年3回

支部活動の紹介

		大津支部	湖南支部
I 総 会	開催日	4月	5月
	参加人員	69名	40名
	参加費	2,000円	2,500円
	会場名	アヤハレークサイドホテル	栗東市 区会議所
	会場への送迎	なし	各自で自由
	議案書の配布	当日配布	事前配布（全支部会員）
	総会後の行事	地域ボランティアの発表、詩吟 他、懇親会	宴会、カラオケ、手品（会員の ボラ）
II 支 部 会 議	開催頻度	年4～6回	年4回
	召集方法	郵送	電話による連絡網
	会場費	無料（老人福祉センター）	無料（公民館）
	湯茶の設備	有（無料）	有
III 機 関 紙 の 発 行	発行頻度	年2回	年6～7回
	機関紙の名称	“かけはし”	“かわらばん”
	主な内容	<ul style="list-style-type: none"> 支部行事の案内 文芸欄他 	<ul style="list-style-type: none"> 事業の事前PRとその結果報告 会員からの投稿
IV	会員名簿の発行	年2回、5月は役員のみ	年2回 4月役員のみ配布 10月は新入会員を含む全会員に 配布

湖 北 支 部	高 島 支 部
4月26日	6月
63名	30名
3,500円	4,000円
浜湖月	丸三旅館
浜湖月の専用バス	有（最寄駅より会場）
当日配布	当日
宴会	宴会、余興（会員によるマジック等）
年に6～10回	年4回～5回
書面の発送（郵便）	文書を役員が直接配布
無料（社会福祉施設 ゆめホール）	無料（老ク連事務所）
缶のお茶・持ち寄りの菓子	缶ジュース1本、缶ウーロン茶1本
年1回	発行していない （来年から“ミニ情報紙”を発行予定）
会報 こほく（80ページ）	——
<ul style="list-style-type: none"> • 会員からの投稿（自由課題） • 会員名簿 • 活動の沿革 	——
会報こほくに掲載	年1回
有（11月7日）落語	無
無料	——
記念品（ボールペン）	——



		中 部 支 部	湖 東 支 部
I 総 会	開 催 日	4月13日	5月18日
	参 加 人 員	56名	45名
	参 加 費	500円（弁当代の一部に充当する）	2,000円
	会 場 名	県立老人福祉施設延命荘（八日市市）	一休庵（犬上郡甲良町池寺）
	会場への送迎	自家用に相乗り	施設の送迎バス（河瀬駅、尼子駅より）
	議案書の配布	事前に参加予定者に	事前
	総会後の行事	手踊り、カラオケ	講演 福原範彦氏「くもの巣」と奇術 懇親会
II 支 部 会 議	開 催 頻 度	年3回	年6回
	召 集 方 法	会議の議題を封書にて連絡	案内文書 役員を通し配布
	会 場 費	無料（県立施設のため）	無料（老人福祉センター）
	湯 茶 の 設 備	会場にて準備 持込み（缶ジュース、茶菓子）	施設の給湯を利用（茶葉持参）
III 機 関 紙 の 発 行	発 行 頻 度	年2～3回	年3回
	機 関 紙 の 名 称	“支部だより”	“支部会報”
	主 な 内 容	会員からの投稿（原稿用紙2枚程度） 会員の訃報、経過報告	<ul style="list-style-type: none"> • 支部役員名簿 • 会員だより（会員からの投稿） • 事業および会計報告
IV	会 員 名 簿 の 発 行	年1回 4月当初	年1回
V 新 入 会 員 歓 迎 会	開 催 の 有 無	無（各分会にて個別に）	有（10月）
	参 加 費	——	3,000円（新入会員2,000円）
	席 上 配 布 物	全会員名簿	歓迎会資料 <ol style="list-style-type: none"> (1) 会則 (2) 年間行事予定 (3) 役員名簿 (4) その他

守山・野洲支部	甲 賀 支 部	近江八幡支部
有 (10月)	有 (10月)	有 (9月)
無料	無料	無料
(1) 本部、支部、総会議案書 (2) 会別行事、会員名簿	(1) 支部会則 (2) 支部総会資料 (3) 支部会員名簿 (4) 本年度支部入会者名簿 (5) 甲賀支部だより「会誌」 (6) 各部行事案内	会員名簿、参加資料 自己紹介
・グラウンドゴルフ(年2回) ・歩こう会(安土、レトロバス利用で実費) ・ゲートボール愛好会	グラウンドゴルフ(年6回)	グラウンドゴルフ(年2回)
——	1人1回200円	無料
——	累計55名	40名位
有	有	有
(1) 日帰り旅行 開催月 11月21日 参加費 7,500円 参加人員 36名 場 所 京都 南山城方面 一休寺～松花堂庭園 散策～男山八幡宮 (2) 作品展 開催月 平成15年2月 場 所 守山図書館	(1) 日帰り旅行 開催月 11月6日 参加費 7,000円 参加人員 52名 場 所 奈良 正倉院展 (2) 相互1日研修 開催月 10月17日 参加費 4,000円 参加人員 51名 場 所 信楽町訪問	(1) 日帰り旅行 開催月 10月1日 参加費 8,000円 参加人員 52名 場 所 白東館 (市観光物産協会) (2) 卒業生作品展 開催月 平成14年9月 29日 場 所 白雲館 参加費 無料
車椅子社交ダンス(すこやかセンターおよびゆいの里の福祉施設へ。支部会員が「車椅子社交ダンス」の支援。)	——	——
約15名	——	——

		大 津 支 部	湖 南 支 部
V 新入会員歓迎会	開催の有無	有(10月)	有(10月)
	参加費	無料	無料
	席上配布物	(1) 支部会則 (2) 支部会員名簿	(1) 会則(本部、支部) (2) 会員名簿、役員名簿 (3) 年間行事
VI 体育活動	実施内容	グラウンドゴルフ(年2回)	グラウンドゴルフ(年2回)
	参加費	1,000円	無
	参加人員	2回共31名	各50名
VII 研修活動	実施の有無	有	有
	活動内容	(1) 日帰り旅行 開催月 9月 参加費 3,000円 参加人員 37名 場 所 家庭電化製品歴史館、サントリー山崎蒸留所 (2) 作品展 開催月 平成15年3月 参加費 無料 場 所 レ大草津校 (湖南支部と合同開催)	(1) 日帰り旅行 開催月 10月 参加費 8,800円 参加人員 40名 場 所 白川郷(バス) (2) 作品展 開催月 平成15年3月 参加費 無料 場 所 レ大草津校 (大津支部と合同開催)
VIII 地域ボランティア活動	活動内容	——	学区内(草津市老上)独居、老人家庭および特別養護老人ホーム、幼稚園などの樹木の剪定
	参加人員	——	第19期~20期園芸学科の人5名。 要請のあった都度実施

湖 北 支 部	高 島 支 部
<ul style="list-style-type: none"> • グラウンドゴルフ • ゲートボール 	グラウンドゴルフ
1,000円	なし（経費は支部で）
<ul style="list-style-type: none"> • グラウンドゴルフ 83名 • ゲートボール 45名 	20名
有	有
<p>(1) 日帰り旅行 開催月 11月15日 参加費 9,500円 参加人員 36名 場 所 紅葉の北陸路を 訪ねて</p>	<p>(1) 日帰り旅行 開催月 12月4日 参加費 2,000円 参加人員 30名 場 所 郡内名所・旧蹟・ 施設めぐり</p>
—	—
—	—



		中 部 支 部	湖 東 支 部
Ⅵ 体 育 活 動	実 施 内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・歩こう会 ・グランドゴルフ ・ゲートボール 自分で撰んで 種目を決める ・ペタンク ・ニュースポーツ 	グランドゴルフ
	参 加 費	500円	無料
	参 加 人 員	種目により異なる (約50名/各種目とも)	32名
Ⅶ 研 修 活 動	実 施 の 有 無	有	有
	活 動 内 容	<p>(1) 相互研修 レ大にて履修した科目をそれぞれ会員に伝達研修する</p> <p>④ 園芸科 盆栽、年末寄植</p> <ul style="list-style-type: none"> ・スポレク科 折紙、クラフト作品 ・生活科 パッチワーク作品、 手芸作品 ・文芸科 条幅作品 ・陶芸科 陶芸作品作り <p>(2) 作品展 支部単位では行わず、各町の分会独自で町の文化祭にレイカディアコーナーを作ってもらい出品(町老人会との協賛で)</p>	<p>(1) 史蹟探訪 開 催 月 11月11日 参 加 費 2,000円 参 加 人 員 38名 場 所 西明寺、勝楽寺</p> <p>(2) 作品展 開 催 月 10月4日～ 10月6日 参 加 費 無料 参 加 点 数 71点 場 所 秦荘町歴史文化資料館</p>
Ⅷ 地 域 ボ ラ ン テ ィ ア 活 動	活 動 内 容	——	——
	参 加 人 員	——	——

支部のうごき



▲大津支部

10月31日、打出浜の大津市老人福祉センターに於いて、第23期卒業の新入会員20名が出席して「歓迎懇親会」を開催しました。役員、新入会員相互の自己紹介のあとフリートーキングを行いました。同窓会に対する期待や要望など、今後の支部運営にあたっての貴重な意見が多く、短い時間だったが大変有意義な会合でした。



▲湖南支部

10月12日、40名と過去最高の参加者となりツアーバスを借り切って、世界文化遺産の「白川郷」から「白山スーパー林道」への『日帰り旅行』を実施しました。

楽しい昼食後のひと時、紅葉映える「御母衣ダム」の畔で、同窓会旗を真ん中に記念写真に納まる参加者たち。



▲守山・野洲支部

11月21日、京都南山城方面へ『日帰り親睦旅行』に行きました。色鮮やかな紅葉を夢見心地で通り過ぎ、松花堂へ。昼食後は、小堀遠州造の庭園を散策しながら、ひときわ目を引き印象に残ったのは、「節と節の間が短く、幹が太く光沢のある竹」金明孟宗竹でした。



▲甲賀支部

10月17日、甲賀支部では毎年開催地を各町持ち回りで「研修会」を行い、今年は信楽町で開催しました。午前中はその町の代表的な名所を見学しました。

写真は、地元の人達の演芸を見ながらの楽しい昼食懇親会の風景。



▲近江八幡支部

9月29日、市内にある白雲館に於いて支部作品展をレイカディア大学『卒業生作品展』と銘打って開催しました。会場は市内の観光エリア内にある多くの観光客も訪れて大変盛況な展示会でした。

写真は、会場入口で開催に携わった役員たち。



▲中部支部

10月30日、支部初めての『歩こう会』を開催しました。山登りと行事のPR期間が短かったのか、参加者は9名でしたが、標高297mの瓦屋禅寺の参拝では83歳の田口さんをはじめ全員元気一杯で、初めての試みとしては大成功でした。

写真は、平安時代の秘仏を安置した本堂前での記念写真。



◀湖東支部

支部で開催した「作品展」は今年が初めて。書、絵画、陶芸、工芸、手芸、写真、盆栽といずれも素晴らしい作品が所狭しと展示され、見る人の目を楽しませてくれました。

また、会場を湖東三山の一つ『金剛輪寺』内の『歴史文化資料館』にしたこともあって、一般の参拝客も多く観賞に訪れ、大成功の第1回支部作品展でした。



▲湖北支部

支部恒例の『研修・親睦旅行』は、あいにくの天候でしたが『弁当を忘れても傘忘れな』の諺のように“時雨は、北陸の名物”。その雨で、一段と彩を増した那谷寺の紅葉を賞で、昼食は片山津のグルメで大いに盛り上がり、北陸の味を満喫した楽しい旅でした。

再会を約して無事家路に着きました。



▲高島支部

12月4日、27名の参加者は今津町営バスで、湖西一帯にある公共施設を見学する『1日研修会』を行いました。見学施設は、マキノ町の『白谷学校歴史資料館・夫婦椿』、今津町にある『湖西広域消防本部』、『高島流域下水道処理場』でいずれも地域住民の安全と安心を支えてくれている職員に改めて感謝の1日でした。

写真は、下水道処理場の玄関前です。

「話題の人」

レイカディア大学での教えを活かし地域でのボランティア活動や地域活動のリーダーとして頑張っている人、あるいは、趣味や特技を活かして第二の人生をエンジョイしている人達を紹介します。

活動に充実感と生涯現役の意気込みで頑張っておられるみんなに拍手を送り、今後のご活躍を祈念しましょう。

大津支部

地域プロデューサーをめざして

第二期・スポレク学科

岡崎 一郎

私の住む大津市日吉台を中心に、高齢者と子どもの心身の健康作りのお手伝いをと願っています。レイカ21（同期会）や多くの仲間を支えられて、地域プロデューサーをめざして学びそして歩み続けています。

スポレク学科、おうみ未来塾（二期生）で二年間学び、

ゆうゆうセミナーで、ニュースポーツと紙芝居を受講し、地域では学区社協の事務局長をさせてもらっています。

そしてNPO法人・関西総合福祉医療研究会で、事務局の仕事を手伝っています。更に月四回の自働具工房「ケアクラフト〇〇二（おおつ）」にも精勤させてもらっており、自称「ボランティア三昧」といっています。

つぎに学んだ成果や人脈を生かして企画し、活動している月一回レベルのものを列記して見ます。

一、Kスポレク倶楽部・高齢者レクリエーション活動、43回実施

二、ダンス&ダンス倶楽部・社交ダンスを中心にフォークダンスなど、21回実施

三、聖徳うた倶楽部・カラオケ中心の集い、20回実施

四、「心のうた」と「おしゃべり」の会・うたとおしゃべりの集い、16回実施



こんな活動ができるのも健康のお蔭ですし、その健康を支えてくれている家族にこの場を借りて感謝します。(完)

八七才のパワー全開



第七期・生活学科
本郷 武子

私の辞書に余生という言葉はありません。年老いて益々盛んです。元氣の「秘訣」は、と良く聞かれますが、私は何時も「常に体を動かすこと」と申しております。

夏の日強い太陽の光を一杯に受けて流れる汗を拭きながら畑に真赤に色づいたトマトをかぶりついて、「おいしい」と体中に味わってそのさくさくとしてほんとうに云い様のないおいしさでございます。

明日はグループのおしゃべり会、老人クラブの研修旅行、公民館講座、親戚の義理等々毎日忙しいです。ストレスなんか溜まる暇もなく、毎日おわれています。今大事なことは、いろいろの会合の中で高齢化社会のお互いの認識、世代間交流を通じ人として歩むべき正しい道を考え守ること

の大切さを語り伝えるのが私達年代層の務めかと思えます。そして私、今だに医者疎遠でございます。これからも人様にご迷惑をかけず地域の為に健康で皆様と助け合って楽しい毎日を送りたいと願っております。

週に一度は琵琶湖大橋をスイスイとペダルを踏みながら西武へ行くのが楽しみです。

年が明けますと米寿なんて考えた事はありません。まだまだ若い人にはおいこされない気持ちでおります。でも力は劣えてこれは負けています。

楽しい余生を元氣に過ごさして頂く事をお願いして居ります。

湖南支部

『食と健康』

第一七期・文芸学部

児玉 薫

戦後半世紀、私たちの周りには豊かさがかもどり、衣・食・住なかでも『食』は、飽食の時代といわれるように食料、加工食品が溢れ、その選択に頭を痛めるほどです。



滋賀の食文化研究会から表彰を受ける児玉さん

過食、加工食品それに伴う添加物、これらに起因する成人病(生活習慣病)が多いと知る時、『食』がその全てでないにしても不安がつのります。

今、欧米諸国から『日本食』に関心が持たれ、特に、豆腐に注目が寄せられていると聞きますが、『日本食』とは、伝統的な料理でその土地の特産物を活かした調理方法が今日まで受け継がれている料理です。この伝統的な料理と調理方法を各地で聞き取り調査し、これを再現している会が滋賀の「食文化研究会」です。

私もこの会に

興味があったので、一〇年前に入会し研鑽を積んできました。また、レイカディア大学の伝統食講座も受講し、以前にもまして伝統食の意義とその普及の重要さを学びました。

「食文化研究

会」の研究成果が大きな原動力となり、県は、平成一〇年に「滋賀の食文化財」(無形民俗文化財選択)として「湖魚のなれすし」「湖魚の佃煮」、「あめのいお御飯」、「でっち羊羹」、「日の菜漬け」の五点を指定し、その維持と普及を推進しています。



伝統食の実習中の児玉さん

「食文化研究会」は、平成一三年三月に一〇周年記念事業として「食事博(くいじはく)」が滋賀女子短期大学で開催され、その席で、多年の食文化への研鑽と熱心な普及活動を讃えられ、はからずも「功労賞」と料理部門で「広めま賞」の二つの賞を頂き、過分な賞に面映さと喜びでいっぱいです。

健康で「食」と関わってこられたことを感謝し、今後は、この受賞を糧に「伝統食」の維持と「今、何故、伝統食か」を一人でも多くの人に伝えて行きたいと思っています。

守山・野洲支部

★紹介します★

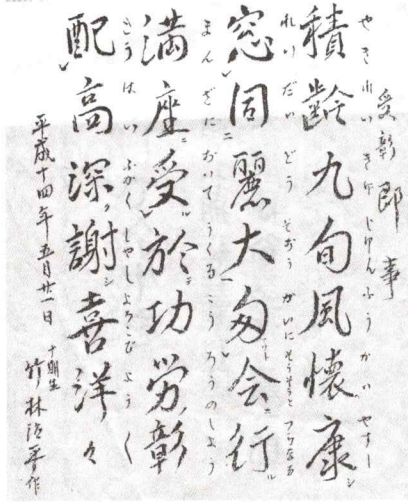
平成一四年度功労者表彰

竹林治平さん（第一〇期・園芸科・九〇歳）を紹介します。
その功績と活躍振りについて。

一、受賞事由

平成八年から四年間支部理事および監事を歴任され現在に至るまで、支部総会、グランドゴルフ交流会、研修旅行等へ積極的に参加され、作品展には墨彩画の力作を出品されるなど同窓会活動の発展に貢献され、卒壽を迎え今なお元気に活躍されている。会員の模範であり、支部の誇りです。

（守山・野洲支部長 岩井典弘・記）



『齢重ねて九十年、身も心も健康にして、レイカ大同窓会に早々と名を連ね、大勢の会員の前で栄えある功労賞を受賞し、皆さんの「厚意に厚く感謝いたします。』

▲同窓会の功労賞を受賞した折に即席で詠まれた漢詩です。

京
着
楽
行
2

90歳の力作も展示

レイカディア大 同窓会の作品展

同支部は、レイカディア大学で学んだ成果を生かすため、陶芸などの活動を続けている。作品展は四回目で、九一二期生までの卒業生が三十九点を出品した。五重塔の形の花瓶や布袋尊の仏画、油絵など力作ばかりで、中には同支部最高齢の竹林治平さん（九〇）も、脇田町IIが松竹梅と老夫婦を描いた墨彩画もあり、市民も感心しながら見入っている。

レイカディア大学同窓生の作品展
（守山市・市立図書館）

守山

京都新聞でも功績をたたえて掲載されました。

人生の真ん中をそして余生を

第七期・文芸学科

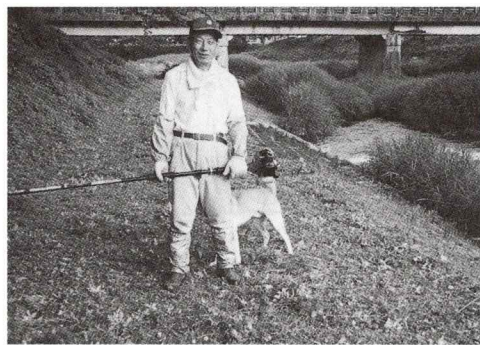
谷北 嘉一郎

世の中で一番尊敬する人は、と尋ねられたら私はいつもの即座に父と答える。

父は、学歴も無ければ有名人でもなかった。ただ私欲なくひたすら地域のため人のためにのみ尽くす生涯だった。体力がなく先の大戦には従軍することはできなかった。その分だけ地域の皆様のために尽くすんだと言っていた。経済的には貧しく母は何時も金が無い金が無いと言っていた。ことを思い出す、お金に縁のないと言いか持てない人だった。少しの金でも有れば皆様が喜ぶために使った人でもあった。おかげで家族は無に耐えたが、幸せだった。特に物忘れしないことには感心した。どんなに忙しい時でも物事を頼んでも忘れない。忘れるのは誠意が無いからだとしかられた。穏やかでしかも迅速に物事を処理するため人様の信頼は厚かった。今時こんな人物を尊敬するなんていつていると相手にされないとは思ったりもするが、そんな中で生かされて来たことに私の今があるのだと感謝している。

百姓に学問は要らない、労働にのみ耐える体力さえあればと言う戦中戦後の時代に大学にまで進学させてくれたのは何のためだったのか、学歴偏重主義の始まりだったのかと思ったりもする。中学校教員を二年勤め皆が惜しい惜しいといってくれたが退職、山林労務者となり三〇年木を育てることに私の青春を捧げて来た。経済的にはマイナスだったろうがこの仕事を自負している。

昭和三〇年より県有林管理人の委嘱を受け多くの人の協力を得て三〇〇ヘクタールの山林の保育に携わる、戦前に植栽されたのが放置されてあったのでそれは大変な保育作業だった。始めは看守人であり山と労務者の労働看守で共に働きながらの仕事に努力した。高度成長期に入ると次第に労務者は工場労働者として転職して行く四〇年代後半になると数人のもので主に二次木の保育に従事した。これらも今は立派に成長している。このころより看守人から管理人と職名が変更になった。五〇年代後半になり私は、教育委員会に勤務を要請され山を去る。しかし、その後も毎月



『忙中閑』川釣りに興じる谷北さん

一回は巡視して今日に至っている。近年木材価格の低迷により山に投資することが少なくなり地元の労務者はいないが、緑と水を育む山林の公益性は大きいだけにこの仕事に携わったことには喜びを抱いている。永年の拘わりにより幾多の賞を戴いたが、此れは私一人のためではなく多くの山林労務者の支援と父とに戴いたものとして感謝し、山で働く者をも認められたと喜びをかみしめて余生も山に捧げたい。

（注）谷北氏は、長年に亘る県有林の管理に携わった功績を讃えられ、平成十三年に「勲七等青色桐葉賞」を授与されました。

近江八幡市支部

平均寿命発表に思う



第三期・園芸科

深尾源次

新聞報道で世界保健機関（WHO）が発表した二〇〇二年版の年次報告を知った。

それによると日本の平均寿命は八一・四歳で前回に続き

平均寿命ランキング

【トップ】	【ワースト】
①日本 (81.4歳)	①シエラレオネ (34.2歳)
②サンマリノ (80.8歳)	②アンゴラ (36.1歳)
③モナコ (80.3歳)	③マラウイ (36.3歳)
④スイス (80.2歳)	④ザンビア (36.8歳)
⑤オーストラリア (80.0歳)	④ジンバブエ (36.8歳)
⑤スウェーデン (80.0歳)	

健康寿命ランキング

【トップ】	【ワースト】
①日本 (73.6歳)	①シエラレオネ (26.5歳)
②スイス (72.8歳)	②アンゴラ (28.7歳)
③サンマリノ (72.2歳)	③マラウイ (29.8歳)
④スウェーデン (71.8歳)	④ザンビア (30.9歳)
⑤オーストラリア (71.6歳)	⑤ジンバブエ (31.3歳)

世界一の長寿国になっている。日本は障害や寝たきりの期間を差し引いた「健康寿命」でも七三・六歳でトップである。日本の平均寿命は一八九一年（明治二四）で四三・六歳、一九三五年（昭一〇）で四八・三歳と、第二次世界大戦までずっと五〇歳以下であった。私達は「人生五〇年軍人はその半分の二五年」と教えられその覚悟をしていたものであった。戦後は一九五〇年（昭二五）が六一・三歳、一九七五年（昭五〇）で七四・四歳、そして二〇〇一年（平元）で八一・四歳に達している。昔の人が願ってもかなえられな

かった長寿を私達は手に入れました。それは戦後医療が画的に進歩し、乳児や中高年に死亡率の低下や結核などの感染症の克服や激減したのと、戦争を無くす

たからである。

ところで日本を筆頭にスイスなど計六カ国の平均寿命が八〇・〇歳以上に達した反面、アフリカ諸国はシエラレオネの三四・二歳をはじめ五カ国が四〇・〇歳以下と二倍以上の開きがある。しかも平均寿命と健康寿命ランキングのワーストの順位も同じ国があがっている。世界地理事典でこれらの国を探すと、いずれもアフリカの南東や南西部にあり、ポルトガルやイギリスの植民地や保護領から一九六〇年代に独立した共和国である。自給的な農業国だがかつて奴隷貿易が行われ、多く部族に別れた内戦やエイズなどの感染症も深刻な数字で裏付けられている。報告によると世界で約一億七千万人の子どもが栄養不足によるやせ過ぎとされ、アフリカを中心に三四〇万人の死亡につながっていると指摘する。先進国と新興経済国では対照的に一〇億人以上が太り過ぎで、北米や西欧では年間五〇万人が死亡している。報告は幼少期のやせ過ぎや、太り過ぎ等の健康リスクの低減により、アフリカの一部では健康寿命を最大で一六年、日本や欧州などの先進国でも五年は延ばすことが出来ると推定している。

日本の平均寿命(二〇〇一年)は男性が七七・九歳。女性が八四・七歳。「健康寿命」は男性が七一・四歳、女性が七五・八歳といずれも女性優位である。このことは日本も含め

て長寿国にすべて共通している。

二一世紀を生命を大切にす地球規模での平和、環境、人権の世紀にしたいと想いねがう次第です。

ボケないで長生きしたい……



第一七期・文芸学科

廣田彦一

平成一四年八月近江八幡市在宅介護支援センターヴォーリズの主催により五日間にわたって開催されました「介護予防従事者研修会」において、赤沼フサ枝先生は「毎日五人以上の他人さんとお話をしなさい」と話されました。これは、年を取って何時も家の中に閉じ籠もっていないで外へ出て、いろいろな方と話し合える交流の場を作りなさいということであると思います。

又、早川一光先生は、生きている感動がなければボケる。生かされている喜びを感じられる方はボケにくい人。「ああ」という感動。「ああ」という驚き。これがボケない人の性格です。又、ボケにくい人は芸が身を助けている。

- 歌を歌える方はボケにくい。
- 歌舞伎の役者がボケにくい。
- 絵かきさんがボケにくい。
- 短歌をつくる歌人がボケにくい。
- 俳句をつくる方もボケにくい。

と「大往生の心がけ」の中で述べておられます。

私もボケないため、レ大で初めて習いました俳句を素人なりに作って毎週新聞に投稿したり、民生委員児童委員を務めおります関係から「ふれあいのまちづくり推進協議会」の事務局として毎日八幡公民館へボランティアで勤めておりまして、老体に鞭打って頑張っております。

中部支部

★紹介します★

園 昭三さん（第一八期・園芸学科）を紹介します。

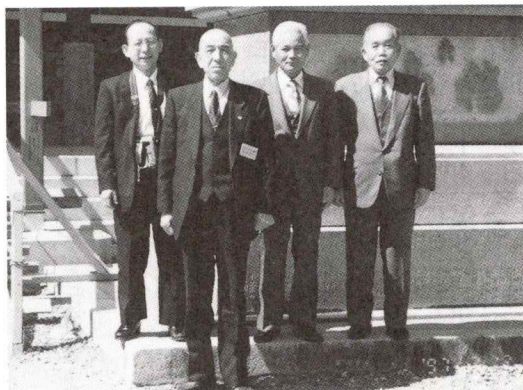
私は去る九月二一日中部支部グランドゴルフ大会が、竜王町ドラゴンハットで開催され参加しました。その時支部会長金山氏より唐突に同窓会・会報一九号の原稿を依頼され堅くお断り申しましたが是非とも頼むと言われ粗稿を書く決心を致しました。主題の地域活動を活発にしている人

と言う事で前中部支部長、園昭三氏を紹介します。

園氏は私と共に一八期園芸学科生で米原校へ二人で二年間仲良く自動車で通学しました。光陰矢の如し卒業後七年経ちます。彼の家業は農業で息子さんは遠隔地勤務のため早くから農事をして『老

ク連』の事務所へ勤務される。また町スポーツ関係のゲートボール、グランドゴルフと幅広く関係役員をされ後輩の指導を熱心にされています。平成七年には行政区小川の副区長、一〇年には区長を、一二年にはお寺の門徒総代を、その時本堂再建で二億円からの会計を俊敏に決済され立派な本堂再建落成慶讃法要が勤行されました。園氏は、七四才と言う高齢者でありながら若か若かしく年齢には見えないう元気さ、この方は病氣知らずで、こうして活発に活動が出来ると思います。今後も体に充分注意して今まで通りの活躍を期待しています。私も彼に見習って頑張る所存です。

（第一八期・園芸科 大前欽市・記）



園 昭三さん（右より2人目）

★紹介します★

平井 博さん (第一五期・スポレク学科)を紹介します。



平井さんは、現在次のような内容の機関認定を得て、積極的に実践されています。

- 一、生涯学習インストラクター (旧文部省)
- 一、福祉レクリエーションワーカー (日本レクリエーション協会)

一、学びの達人、遊びの達人 (財、社会通信教育協会)
特に平成八年度の「生涯学習ボランティア講習」では成績優秀者として、当時の文部大臣表彰を受けています。(全国で五名)

平井さんは、福祉ボランティア活動に携わり、地域に多大の貢献をされています。高齢者を中心としたレクリエーションに、例えば「趣味、おしゃべり、食事等を通じてコミュニケーションをはかる」と言った手法で取り組んでいます。生涯学習の一端と言えましょう。また、ボランティア活動として、地元で実施している「ふれあいサロン」で中心的役割を担い、近江八幡市沖島の高齢者の集いにも参加されています。ビジョンとしては「予防介護」であり、「介

護保険を受けなくてもいいように」と言うことで「アクティビティ・プログラム」を取り入れているそうです。

ご本人は、子供も老人も障害者も、社会で当たり前前の生活ができるような明るい社会の実現に寄与したいと言っておられます。

(第一七期・スポレク科 西川昭三・記)

湖東支部

★紹介します★

山田佐太郎さん (第一五期・スポレク学科)を紹介します。



彦根市石寺町一一八〇 大正一四年
七月一〇日生

平成七年四月 インストラクター
資格 修得

平成七年四月 年三回〜四回 地域にてフォークダンス、レクダンス等指導をする

平成八年四月 年二〜三回 老人ホーム、保育園等で、ゲーム、クラフトを指導する。

平成一三年三月 レイカデア大学同窓会湖東支部副支部

長彦根分会長

平成一四年五月 現在 老人会『貴石会 々報』一一五号

を発行一〇年目

平成一四年五月 現在 自営農業 水田 二町歩を耕作す。

貴石会々報〔創刊号〕平成五年五月一五日



石寺町老人会発行会報の一部紹介 会長 山田佐太郎

貴石会々報〔一一四号〕平成一四年一〇月一五日

石寺町老人会発行会報の一部紹介 会長 山田佐太郎

真砂会 雑詠

おちこちに 煙りたなびく 秋の暮れ 山田佐太郎

あとがき

これは貴石会々報の石寺町老人会々報の創刊号と『一一四号』の一部です。

平成一四年五月一一四号の発行により、一〇ケ年を迎えました。

『十年一昔』と言われますが、毎月欠かさず責任者として、取材、編集、発行に務め、地域老人会のボランティアに活動、加えてコンバイン、トラクターに乗り、水田二丁歩の耕作、其の努力バイタリティーには、感嘆、敬服の外有りません。今後共に益々の素晴らしい活躍を期待し『ちよつと輝いている人』として湖東支部よりの紹介と、させて頂きます。

(レイ大湖東支部長 磯島弥一郎・記)

★紹介します★

福原範彦さん（第一二期・園芸科）を紹介します。

神崎郡五個荘町金堂 弘誓寺大正一五年一〇月一日出生

昭和四二年四月 八日市市議会議員 連続三期

昭和五二年四月 日韓親善協会湖東支部 会長

昭和五四年四月 滋賀県会議員 連続二期

昭和六三年四月 衆議院議員 宇野宗佑 滋賀県秘書

平成二年一二月 真宗大谷派 西念寺 住職

平成七年一二月 秦荘町民生児童委員 連続三期

平成八年四月 京都教区近江第九組 副組長

平成一二年四月 NPOアジア老友協会日本本部 副理事長

受賞

勲五等 双光旭日章 平成一四年五月八日

滋賀県レイカディア大学功労者 表彰

平成一四年五月二一日

東本願寺 本山功労賞 表彰

平成一四年五月二六日

福原範彦氏は永年にわたる県議等々地方自治功労者として

勲五等双光旭日章受賞

県レイ大 功労者 表彰 東本願寺 本山功労者 表彰を

五月三回

お受けに成り 永年に渡るご苦勞に感謝し、心よりお慶び
申し上げます。

あとがき

福原先生は、大変
気さくで、先生の講
演は、特に素晴らし
く、ユーモアを交え
プロ顔負けの手品も
大評判で、レイ大同
窓会の総会、新入会
員歓迎会、等にお願
い致しました。又手
作りの紙芝居を作り、
『グループ虹』を結成、特別養護老人ホーム等を慰問し手品
を交えて、大活躍されて居ります。其の先生が体調を崩さ
れ約二ヶ月入院手術され、心配致しましたが、幸い無事退
院されました。先生のご健康と、益々のご活躍を御祈念申
上げます。

（レイ大湖東支部長 磯島弥一郎・記）



叙勲受賞祝賀会(右から3人目の後者・福原さん)

無事故への活動



第七期・園芸学科

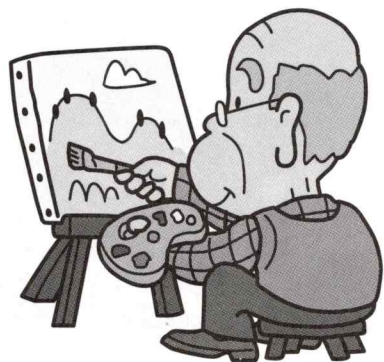
大林 忠 治

今年は二三期生が卒業し二五期生入学の秋。私が卒業して早や七年目になります。地域活動には、タイミングよく区内の役員をしています。米原町では各字、区で生涯学習の推進を六年前に実施され醒井区も町内二七区のうち四区の公民館が賛同、区長と企画運営に努力し目的に向かって自治公民館長として苦戦しながら、学習と交流の場を提供し、特にレクダンス、書道の学習企画にはよい先生に恵まれて今も続いています。レクダンスはゆめホールで老人達への慰安にも参加し社会奉仕に務めています。書は展示会にも作品を出し、池のかわず大海を知る機会も多くなりました。

次はある時期交通戦争とも云われた交通事故防止は、たえず全国民の課題です。私も坂田郡交通安全協会に委嘱されて、毎月一日と一五日に駅前で立番をして交通事故防止

のために安全補導とパトロール隊にも協力しています。そうして春・夏・秋と年末の交通安全週間や各行事には朝夕郡内をパトロールして町民の安全意識高揚に参画し、地域の事故防止活動にも励んでいます。

まだシートベルトの未着用者や、運転中の電話使用者がよく目につきます。みなさんも飲酒運転と共に運転中は電話をせず、注意力が欠けるような行動はしないで双方共に悲しみの生活にならないことを重要課題にしたいものです。又、資料館で区内歴史ガイドにも輪を拡げ中山道、醒井宿で人との交流や出会を大切に、健康的で明るい対応に務めて頑張っています。



高島支部

★紹介します★

熊谷正三さん（第九期・文芸学科）を紹介します。



安曇川町の熊谷正三さんは、平成一四年一月に八七歳となられました。

熊谷さんの多才ぶりは大変有名で、ちなみに主なものでも、謡曲、仕舞、漆工芸、書、マジック、剣道、太極拳、ゲートボール、グラウンドゴルフと多岐多才にわたっています。

今年の文化祭でも、背筋をピンと伸ばして仕舞を舞っておられましたがこの道二二年になるそうです。

漆工芸も一五年間の研鑽の結果、去年、今年と高島郡美術展覧会で特選の榮譽に輝いております。書も各種の展示会で度々賞を受けておられます。

マジックは長寿社会福祉センターの呼び掛けで始められ、今も月に二回マイカーで草津市に向き研鑽に励んでおられます。マジックのおじいさんとして地元で有名になり、老人会、子供会、保育所、幼稚園、福祉施設などから次々とお声が掛かり、気さくに outward 技を披露して皆さんに

喜ばれています。

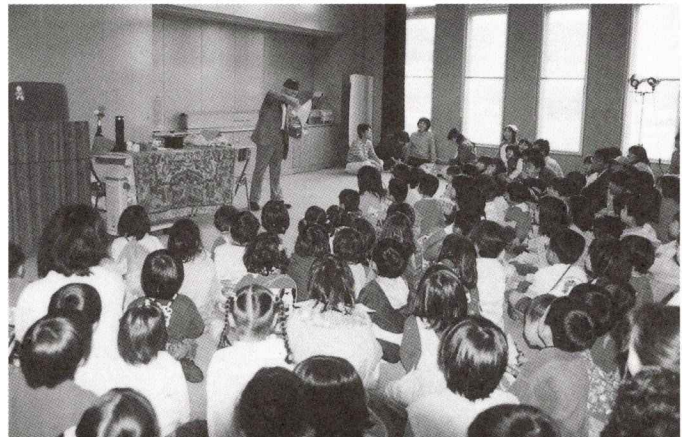
スポーツ、ボランティア活動も熱心で、明るい笑顔で接し老人の生き方の模範だと言われています。

今では役職は退いておられますが、老人クラブ活動に積極的に関わってこられ、平成一一年度の老人クラブ功労者として知事表彰を受けられました。

また、今年東京で開かれた、明るい選挙推進五〇周年大会において内閣総理大臣表彰も受けられました。

八七歳とはいえ益々お元気ですので、老人の鑑として今後も活躍されることを期待いたします。

（高島支部長 伊藤 宏・記）



幼稚園で「手品」を演じている熊谷さん

★紹介します★

昔の学校資料を展示

大村 進さん (第二期・園芸学科)を紹介します。



マキノ町の大村進さんは元小学校教師で、江戸時代から昭和までの教科書や卒業証書、通知簿などを集め、生家を利用した【白谷民族資料館】で展示されています。

資料館は茅葺きの三階建て合掌づくりで、寛政三年(一七九一年)に建てられ、江戸時代には寺子屋に、明治初期には「四十小学校白谷分校」として利用された建物で、一九九八年に国の登録文化財に指定され、一九七三年から民俗資料館として公開されています。

大村さんは自宅が寺子屋や学校に使われていたことから、学校の歴史を紹介する資料館にしたいと全国各地を訪ね資料を集めて来られました。

江戸時代の寺子屋で使われた教本をはじめ、明治、大正、昭和初期の教科書、卒業証書、通知簿、夏の友、ノート類

など約一万八〇〇〇点を集められ、私設では珍しい【学校歴史資料館】として公開されています。

展示物の中には、明治三三年に出版された珍しいカラー刷り国語教科書もあり、また通知簿には、子供に勉強させるには「口よりも手です」と書かれ、多彩な資料から時代背景や教育に対する考え方の移り変わりを感ずることができま

す。県内外からの見学者を、一緒に二二期園芸科を卒業された妻の敦子さんとともに温かく迎えられ、これからも二人で資料の収集に努めて、資料館を充実したいと情熱を傾けておられます。(高島支部長 伊藤 宏・記)



白谷荘学校歴史資料館

平成14年度本部役員名簿

役 職	氏 名	電話番号	備 考
会 長	門 馬 三 郎		大津支部・顧問
副 会 長	磯 貝 澄 雄		湖東支部・顧問
副 会 長	鈴 木 重 隆		
事 務 局 長	奥 村 常治郎		湖南支部長
会 計	鈴 木 重 隆		
大 津 支 部	増 尾 一 雄		支部長・広報部長
	成 瀬 莞 爾		研修（副）
	高 田 亮 子		総務
湖 南 支 部	西 田 太治郎		総務
	宇 野 愛 子		広報
守山・野洲支部	岩 井 典 弘		支部長・総務部長
	東 出 昌 子		広報
	山 内 三代子		研修
甲 賀 支 部	城 宏 衛		支部長・総務（副）
	松 本 秀 一		広報
	中 森 静 恵		総務
近江八幡支部	岩 崎 進		支部長・総務
	石 部 隆 治		広報
	馬 場 利		研修
中 部 支 部	金 山 准 治		支部長・広報（副）
	小 杉 大 雄		研修
	山 本 慶 子		総務
湖 東 支 部	磯 島 弥一郎		支部長・広報
	枝 村 和 次		研修
	山 田 佐太郎		総務
湖 北 支 部	松 本 芳 雄		支部長・総務
	中 川 志げ子		広報
	中 川 寿美子		研修
高 島 支 部	伊 藤 宏		支部長・研修部長
	池 田 邦 治		広報
	川 島 一 枝		総務
監 事	辻 本 昇		
	中 村 健 二		
顧 問	佐々木 尚 一		

滋賀県レイカディア大学同窓会会則

第一条 (名称)

本会は、滋賀県レイカディア大学同窓会と称する。

第二条 (会員)

この会は、滋賀県老人大学校およびレイカディア大学の卒業生をもって組織する。

第三条 (事務所)

この会の事務所は、滋賀県レイカディア大学本部内に置く。

第四条 (目的)

この会は、会員相互が切磋琢磨し併せて親睦を図り母校の発展に寄与することを目的とする。

第五条 (事業)

本会は、前条の目的を達成するために、次の事業を行なう。

- 一、定期総会および臨時総会の開催
- 二、母校の活動に対する援助協力
- 三、調査、研修に関する事項
- 四、会報の発刊に関する事項
- 五、功労者の表彰
- 六、慶弔の実施
- 七、その他必要と認めた事業

第六条 (部の設置および分掌事項)

前条の事業を行なうため、次の部を設け分掌事項を定める。

一、総務部

(一) 定期総会および臨時総会に関すること。

(二) 功労者の表彰の具申、慶弔の実施

(三) その他、他の部にも属さない事項

二、研修部

研修事業の策定および実施

三、広報部

会報等の編集、発刊に関すること。

第七条 (支部とその区域)

この会に次のとおり支部を設け、その区域は次のとおりと定める。

支部名	区域
大津支部	大津市、滋賀郡各全域
湖南支部	草津市、栗東市各全域
守山・野洲支部	守山市、野洲郡各全域
甲賀支部	甲賀郡全域
近江八幡支部	近江八幡市全域
中部支部	蒲生郡、八日市市、神崎郡各全域
湖東支部	彦根市、愛知郡、犬上郡各全域
湖北支部	長浜市、坂田郡、東浅井郡、伊香郡各全域
高島支部	高島郡全域

一、支部は支部規定を自主的に定める。

第八条（役員構成、役員選出、任務および任期）

この会は、次の役員をもって構成する。

- 一、会長 一名
 - 二、副会長 二名
 - 三、理事 各支部より三名
 - 四、常任理事 理事のうち各支部長とする
 - 五、事務局長 一名
 - 六、会計 一名
 - 七、幹事 若干名
 - 八、監事 二名
- 二、役員選出は次による。
- (一) 会長、副会長および監事は、会員より理事会において選出し総会の承認を得るものとする。
 - (二) 常任理事および理事は、各支部より選出する。
 - (三) 事務局長および会計は、会員より常任理事会において選出する。
 - (四) 幹事は、振興財団の役員ならびに大学事務局長に就任を依頼する。
- 三、役員任務は、次による。
- (一) 会長は、この会を代表する。
 - (二) 副会長は、会長を補佐し、会長事故ある時はこれを代行する。

第九条（総会および臨時総会）

- 一、定期総会は年一回会長が召集する。
 - 二、定期総会および臨時総会の議長は、出席会員の中より選出する。
 - 三、議事は、出席会員の過半数によって決定する。但し、可否同数の場合は、議長の決するところによる。
- ### 第一〇条（総会への付議事項）
- 定期総会に付議する事項は、次のとおりとする。
- 一、会則の制定、改廃
 - 二、前年度事業および決算報告
 - 三、本年度の事業計画および予算案
- (三) 各理事は、この会の必要事項の運営にあたる。
 - (四) 事務局長は、この会の庶務事項を処理する。
 - (五) 会計は、この会の会計事務の処理に当たる。
 - (六) 幹事は、適宜理事会に出席を要請して本会の運営事項の助言を受けるものとする。
 - (七) 監事は、会務および会計処理を監査する。
 - 四、役員任期は、二年とする。但し、再任を妨げない。補欠により選任された者の任期は、前任者の残存期間とする。

四、その他役員会において必要と認めたる事項

第一条（役員会）

一、役員会は、会長が必要と認めるとき適宜これを開催する。

二、理事会は、総会に付議する事項のほか、この会の重要事項を審議する。

三、常任理事会は、その都度本会の運営に関する必要事項について審議する。

第二条（顧問および評議員）

一、顧問は、本会役員経験者（長老）として会長が就任を依頼する。

二、評議員は、大学当局より在校生各校二名の選出を受け就任を依頼する。

三、必要事項あるときは、その都度役員会に出席を要請し、助言を受けることが出来る。

第三条（経費）

この会の経費は、次の年会費および寄付金その他の収入をもって賄う。

一、年会費は、別に定めるものとする。但し、既に終身会費を納付した者を除く。

二、寄付金およびその他の収入

第一四条（会計年度と決算）

この会の会計年度は、毎年四月一日に始まり翌年三月三十一日に終わる。

二、年度終了後、収支を明らかにした決算を作成し、監事の監査を受け、総会に報告しなければならない。

第十五条（慶弔）

次により慶弔を行なう。

一、会員が数えて、米寿および白寿を迎えたとき、予算の範囲内で記念品を贈呈する。

二、会員が死亡したとき、弔意を表する。

第十六条（表彰）

会員の表彰は、別に定める規程に基づき行なうものとする。

付則

一、この会則は、平成七年四月一日より適用する。

二、この会則は、平成八年四月一日より一部改定する。

三、この会則は、平成八年五月一日より一部改定施行する。

四、この会則は、平成一〇年六月一日より一部改定施行する。

五、この会則は、平成一一年六月九日より一部改定施行する。

六、この会則は、平成一二年六月九日より一部改定施行する。

七、この会則は、平成一四年五月二一日より一部改定施行する。

滋賀県レイカディア大学同窓会表彰規定

第一条（趣旨）

この表彰は、滋賀県レイカディア大学同窓会の発展向上に尽力し、その功績が顕著な者および団体に対して行うものである。

第二条（表彰の基準）

表彰は、次の基準の何れかに該当し、引き続き会員として活躍が期待されるものとする。

- 一、地域社会において活動し、その功績が母校ならびに同窓会の名誉に大きく寄与したものである。
- 二、同窓会活動に積極的に参加し、その功績が特に顕著であつて他の模範となる者。
- 三、団体にあつては、その構成員が本会の会員であること。

第三条（表彰の選考）

- 一、表彰の選考は、各支部長の推薦により同窓会長が行うものとする。
- 二、推薦にあつては、別紙様式により申請するものとする。

第四条（表彰）

表彰は、年次総会において行い、表彰状ならびに記念品を贈呈する。

付則

- 一、この規定は、平成一一年六月九日から施行する。
- 二、この規定は、平成一三年五月二一日から一部改定のうえ施行する。

レイカディア大学の学生募集は広く行われています

第25期生の募集について、学校の事務当局は市町村の担当部局を訪問。大学の趣旨と学生の募集について改めて説明しました。

各市町村の広報紙にも「県レイカディア大学25期学生を募集」として掲載されました。結果263名の応募者があり、192名の方が入学されました。入学の動機にはやはり「先輩の口コミ」によるものが最大になっています。

多くの高齢者に学ぶ機会を示すと同時に良き同窓会員の輩出のためにも我々の積極的な募集活動が望まれます。

掲載された「広報紙」を紹介します。

◆滋賀県レイカディア大学
第25期生

新しい知識や教養、技術を身につけ地域のリーダーとして活動を目指す60歳以上の学生を募集します。学習内容は必須講座の「人間理解」「郷土理解」「社会参加」と選択講座の「園芸」「文芸」「生活」など。平成14年10月～平成16年9月の2年間で月5、6回程度の受講。授業料Ⅱ年額1万円（教材費、傷害保険、研修経費など別途）。問い合わせⅡ県レイカディア大学草津校☎（567）3901

1. 受付期間Ⅱ7月31日（水）まで。申し込みⅡ入学願書を高齡福祉課に提出☎（582）1127。

◀ 広報もりやま

▼ 広報おおつ

滋賀県レイカディア大学 第25期学生募集

入学資格…満60歳以上の県内在住者で、地域のリーダーとして活動していただける人

期間…平成14年10月から2年間

会場…草津校・米原校

授業料…年額1万円（教材費、傷害保険料等は自己負担）

講座内容…必修講座、選択講座、その他学校行事

登校日…1か月5～6日程度、授業は1日4時間程度

申し込み…7月31日までに健康長寿課 ☎588-1788 ※募集案内、入学願書は健康長寿課、老人福祉センターにあります。

▲ 広報 やす

◆県レイカディア大学第25期学生を募集

入学資格は県内在住の60歳以上の人。修業年限は10月から2年間。定員▷草津校=120人▷米原校=80人。授業料年間10,000円（教材費、保険料などが別途必要）。入学願書受付期間は7月1日（月）～同31日（水）。詳しくは草津校☎（567）3901・米原校☎0749（52）5110へ。

滋賀県レイカディア大学学生募集	【対象】	満60歳以上で地域リーダーとして活躍が期待できる人
	【学科】	園芸・陶芸・生活科学・文芸・スポーツ・レクリエーション
【修業年限】	平成14年10月から2年間	
【場所】	レイカディア大学米原校 《県立文化産業交流会館内》 レイカディア大学草津校 《県立長寿社会福祉センター内》	
【授業料】	年額10,000円	
【締切り】	7月31日（水）	
園市高齡者介護福祉課	☎④1071	

▲ 広報 長浜

編集後記

年を重ねる毎、一年の歩みの早いことに驚かされます。

第十九号発刊に当たっては、より読み易く、親しみ易く、分かり易く、をモットーにして進めてまいりました。更に、「大きな支部」を大きく育てる一助となればとの思いで、「支部相互の情報交換」と「充実したセカンドライフを過ごしておられる会員さん」を紹介するコーナーを企画しました。

このために従前の文芸作品、行事報告、感想文などは支部情報活動の充実が進むにつれ、支部の広報にゆだねることにしました。

また、「セカンドライフ」では、「朝からテレビの番」とか「新聞を三回読んでもまだ十時」などと暇をもてあましている人がいるかと思えば、自由な時間とともに人生の選択肢が増え、現役時代よりもずっと忙しく「張り」のある日々を過ごしておられる会員さんが多くおられることを拝見して、頼もしくも羨ましい思いでした。

石原慎太郎の小説「老いてこそ人生」に「健康な肉体にこそ健全な精神が宿る」というが要は、「気力・張り」だと言ってます。つまり、「あれもしなければ、これもしなければ」と、程よく自分にプレッシャーを掛けることが、「気力」・「張り」を持続できると言うのです。そして小説は、「どんなドラマも最後の幕が一番実があり、感動的なものだ」と結んでいます。高齢社会の構成員としては、「我が人生も斯くありたい」と願うのは編集子だけではないと思います。

終わりに、寄稿いただいた会員の皆さんをはじめ関係各位のご協力に感謝いたしますとともに皆様様のますますのご健勝を祈念いたします。

会報 第十九号 編集委員

広報部長 増尾 一雄 (大津支部)

広報部員 宇野 愛子 (湖南支部)

〃 東出 昌子 (守山・野洲支部)

〃 松本 秀一 (甲賀支部)

〃 石部 隆治 (近江八幡支部)

〃 金山 准治 (中部支部)

〃 磯島 弥一郎 (湖東支部)

〃 中川 志げ子 (湖北支部)

〃 池田 邦治 (高島支部)

滋賀県レイカディア大学同窓会

会報 19号

発行 平成15年 1月
編集 滋賀県レイカディア大学同窓会
同窓会事務局
〒525-0072
草津市笠山7丁目 8-138
(滋賀県レイカディア大学本部)
印刷 大津紙業写真印刷株式会社

